

第12回全日本教育系学生バドミントン選手権大会について

競技役員長 岡田 彩希 (日本女子体育大学)

この度は、全日本教育系学生バドミントン選手大会が開催できたことを嬉しく思います。

私自身、大会運営が初めての経験だった為、不安が大きいまま臨みました。ですが、役員の方や選手の方に助けられ無事に大会を終えることが出来ました。心より感謝申し上げます。

ウィズコロナにより制限が増え、大会や練習をできることのありがたみを改めて感じる事ができました。来月にはマスクの着用が選択制となり、室内競技も少しずつ活気が戻ってくることを願っております。

全日本教育系学生バドミントン選手権大会の益々のご発展と関係者の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

期日：令和5年2月14日(火)・17日(金)

会場：葛飾区奥戸総合スポーツセンター体育館

男子シングルス

優勝 中村 舜 (筑波大学)
準優勝 永渕 雄大 (筑波大学)
3位 李 正 (筑波大学)
〃 杉山 大和 (筑波大学)

男子ダブルス

優勝 大澤 史和・吉岡 佑樹 (立教大学)
準優勝 岡野 藍輝・渡辺 大雅 (順天堂大学)
3位 吉岡 翔哉・佐藤 悠貴 (筑波大学)
〃 野澤 忠永・小中 健聖 (千葉商科大学)

女子シングルス

優勝 島倉 唯 (作新学院大学)
準優勝 矢島 春菜 (筑波大学)
3位 幸田 歩実 (尚美学園大学)
〃 池田 恵美 (筑波大学)

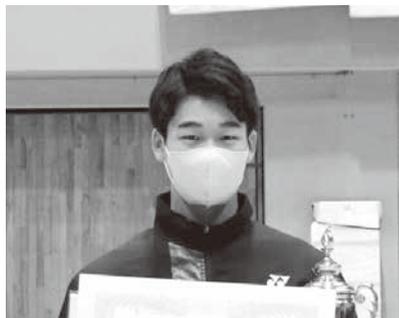
女子ダブルス

優勝 広瀬 未来・中原 鈴 (筑波大学)
準優勝 青木 もえ・長廻 真知 (筑波大学)
3位 新垣 百花・新田 凧 (東京女子体育大学)
〃 大石 悠生・新居 花梨 (筑波大学)



【役員・幹事校】

第12回全日本教育系学生バドミントン選手権大会：優勝者のことば



男子シングルス 中村 舜 (筑波大学)

全日本教育系学生バドミントン選手権大会に初出場です。優勝することができ、大変嬉しく思います。今回の結果に満足せず、来年度の大会で1試合でも多く勝てるように努力していきたいです。

最後に運営にご尽力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。



男子ダブルス 大澤史和・吉岡佑樹 (立教大学)

自分たちの実力を図るために出場し課題も見つかりましたが何より優勝できてよかったです。また、とても自信が着きました。(大澤)

どの試合も向かっていく姿勢でできたので優勝に繋がったと思います。1年生らしく楽しく思い切ってプレーすることができました。ここでの経験を活かしてまた頑張ります！(吉岡)



女子シングルス 倉島 唯 (作新学院大学)

優勝出来たことは大変嬉しく思います。この結果に満足せず日々精進して参ります。



女子ダブルス 広瀬未来・中原 鈴 (筑波大学)

初めてこの大会に望むにあたり、まず開催して頂いた教員の方々や当番校の方々に感謝をしたいと思います。結果としては大学生になって初めて優勝する事ができたので、とても嬉しく思います。この大会を機に自分自身の目標を達成できるように更に頑張りたいと思います。(広瀬)

本大会は、今年初めての試合でした。厳しい試合がいくつかありましたが、昨年のインカレ3位として負けられないという気持ちを持ち、勝ち抜くことができたのは自分達の大きな成長だと感じました。優勝できたことは大変嬉しく思いますが、この結果に満足せず次の新たなステージに向かって進んでいこうと思います。今大会の開催に携わってくださった皆様に感謝を申し上げます。(中原)